

国文祭と芸文祭

愛称「ながさきピース文化祭2025」

長崎新聞
(R5. 5. 25)



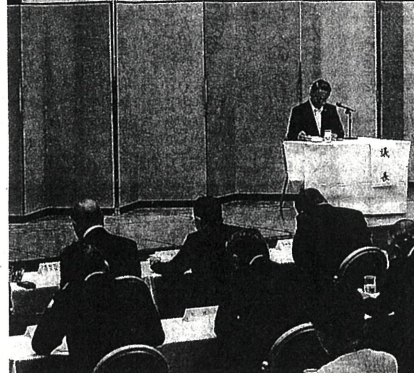
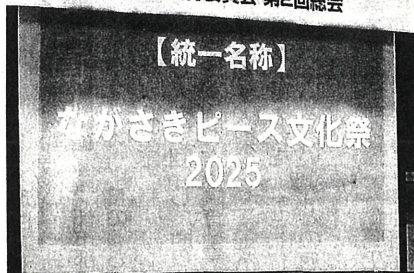
愛称、キャッチフレーズの募集で最優秀賞に選ばれた塚原さん
(前列左)と浦さん(同右)
＝長崎市宝町、ザ・シロバロビュート長崎(林田友広撮影)

2025年に本県で開催される第40回国民文化祭(国文祭)と第25回全国障害者芸術・文化祭(芸文祭)の県実行委員会(会長・大石賢吾知事)は24日、第2回総会を長崎市のホテルで開催。両文化祭の会期を25年9月14日から11月30日までの78日間とし、統一名称(愛称)を「ながさきピース文化祭2025」、キャッチフレーズを「文化をみんなに」に決定したと発表した。

愛称などは昨年12月から今年1月にかけて募集し、愛称に1541点、キャッチフレーズに1460点の応募があった。愛称は佐世保市立清水小6年の塚原優里菜さん(11)、キャッチフレーズ

キャッチフレーズ「文化をみんなに」

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
長崎県実行委員会 第2回総会



国文祭と芸文祭の会期と愛称、キャッチフレーズを発表した県実行委第2回総会(林田友広撮影)

は県立佐世保北中3年の浦優香さん(11)の作品が最優秀賞に選ばれ、採用された。

塚原さんは「被爆80年を迎える年に長崎から平和を日本中に発信しよう」、浦さんは「文化は人をつなぐ力を持っている。多くの人に文化の楽しさなどを知ってほしい」との思いを込めたという。

9月14日から78日間

総会後に愛称などの応募者への表彰式があり、大石知事は「国内最大級の文化の祭典であり、本県の魅力をアピールする絶好のチャンス。受賞作は親しみやすく、長崎らしさが感じられ素晴らしい」とあいさつ。受賞者に賞状を手渡した。

総会には県、市町、文化芸術や障害者団体、観光、交通機関などの関係者約80人が出席。両文化祭の開会式は佐世保市のアルカスSASEBO、閉会式は長崎市の長崎ブリックホールで開くことも決めた。

(中村修一)

愛称・キャッチフレーズのその他の受賞者は次の通り。(敬称略)

- ◇愛称
 - ▽優秀賞Ⅱ野副志織(県立佐世保北中3年)
 - ▽学生優秀賞Ⅱ平戸千愛(県立大村城南高2年)
 - ◇キャッチフレーズ
 - ▽優秀賞Ⅱ西村優(長崎市)
 - ▽学生優秀賞Ⅱ岡本美華(県立町の原特別支援学校 彦岐分校高等部3年)

心平気さん